



取材日:平成25年8月7日(水)

取材先:リプロ株式会社(三重県四日市市)

レポーター名:三重大学人文学部法律経済学科3年 駿河輝

## 地域を愛し、地域のために リプロが行う CSR

### はじめに

リプロ株式会社は三重県四日市市に所在し、本業としてユューカikanにおける温泉施設の経営を行っている。その一方で、「私たちはお客様の100%満足をめざします。」という経営理念から様々なCSR活動が行われている。CSRとは、企業の社会的責任と訳され、企業が利益を追求するだけでなく、組織活動が社会へ与える影響に責任をもち、あらゆる利害関係者からの要求に対して適切な意思決定をすることを指している。

このレポートでは、今回の取材を通して明らかとなったリプロのCSR活動について、主な2つを紹介していく。

### 本編：リプロのCSR活動

リプロが行う主なCSR活動は、障害者支援と児童対象のサッカースクールであり、それぞれがどのようなものかについて述べていく。

まず、障がい者支援活動である。三重県四日市市は有効求人倍率が低く、活動開始当時は、障がい者雇用率も全国で最低水準であった。この課題を改善するために、佐野幸男現会長は「ユューハウス」事業を始め、障がい者の雇用を実現し、現在では社員数150人のうち、34人の障がい者に雇用の場を提供している。「ユューハウス」での業務は、菌床椎茸(きんしょうしいたけ)を中心とする林業や農業を行っている。ここで注目すべきは、栽培や収穫に関して、障がい者の意思をできるだけ尊重していることである。そのため、ハウス内には収穫の時期を逃した椎茸が何株か存在している。このことから、障がい者がリプロの一員として収穫の決定権を持ち、業務を行っていることを確認することができた。また、「ユューハウス」の中でも高い作業技術を持っている障がい者は、いちごなど栽培の難易度が高い作業に挑戦し、仕事が評価されれば、「ユューカikan」で一般就労が行える。このことから、「ユューハウス」での仕事は、障がい者にとって夢のある仕事であるといえ、障害者に対するCSR活動である。

2点目は、児童対象のサッカースクール活動である。リプロはサッカースクール「NASPA サッカースクール」を開講している。この「NASPA サッカースクール」は他のサッカースクールには

ない独自の魅力が感じられた。それは技術の向上よりも人間形成を目的としていることである。NASPAの練習においては、あいさつをきちんとする、目を見て話す、お互いに助け合う、時間を大切にすること、という4つのことを守った上で、技術を磨いていく。これが子供たちに守られているか聞いたところ、「NASPA サッカースクール」特有の空気感に各自が適応していき、暗黙知として守られているとのことであった。特有の空気感は、児童一人ひとりが4つの約束を守ることによって形成され、「みんなが守っているから自分も同じように守ろう」という状態が生まれる。その結果、新しく入会した児童も次第に打ち解けていき、全体としての特有の空気感が生み出されるのである。そこで、実際に練習を拝見したところ、子供たちは元気がよく、また楽しく練習に励んでいる姿を見受けることができた。以上のように「NASPA サッカースクール」の4つの約束は、児童の人間形成を図ることができる。スポーツを通して人間として成長する場を提供することは、児童にとってのCSR活動である。

ここまで、リプロが行っている代表的なCSR活動を紹介してきた。このような活動を行うことが、企業の行動である利益追求に対して、合理的ではないという疑問を抱くだろう。しかし、佐野武現社長な次のように述べていた。「経営活動を行っていく過程で、自分だけが利益を得て幸せになっていくのではなく、周りの人も恩恵を受けて、地域全体で幸せになっていくことが必要だ。」この言葉が示す通り、リプロのCSR活動は障害者と児童に対して恩恵を与えている。

以上がリプロ株式会社のCSR活動である。

### 編集後記：リプロ株式会社取材してみた

リプロの営業活動にとって、CSRの観点から地域に貢献していくということが、最も重要な要素であることを理解する取材となりました。全ては、佐野幸男現会長の地域に対する愛から始まったこの取り組みは、ぜひ、多くの人に知ってもらい、共感していただきたいと感じました。

1つ気づいたのは、本業である温泉施設の経営においても素晴らしいCSR活動となっていることです。これは、取材の休憩時間にお話を伺ったご年配の女性の言葉が教えてくれました。その女性は「月に1、2回利用しています。ここには、友人と何人かで来ます。普段なかなか会う機会もなく、ここへ来るとたくさんお話ができます。温泉は疲れが取れるし、ここへ来るのをいつも楽しみにしています。ここは天国です」と述べてくれました。このように、ユーユーカイカンが高齢者の憩いの場として提供され、地域に求められているのです。

そして今後、リプロ株式会社のより一層充実したサービスの提供を期待しています。例えば、「高齢者を送迎するサービス」が挙げられます。ユーユーカイカンに行きたくても行けない人や、行くきっかけを作れない人に対して、このサービスを提供することで、高齢者の方々に生きる喜びを与えることができると考えます。また、このサービスを利用してもらえば、利用者の安定的な確保も行うことができ、リプロ株式会社にとってもメリットになります。一方で、利害関係者に若者を加えることができるイベントの開催や、新たな事業を行うことも着眼点となるのではないかと感じました。リプロ株式会社が今後、地域愛からどんな挑戦をするのか非常に期待しております。